

2026年3月2日

一般社団法人日本環境測定分析協会

正会員の皆様

第5回環境化学物質合同大会（6/23-6/26）
日環協ブース出展による会員企業紹介の参加募集について

一般社団法人日本環境測定分析協会
WEB 広報委員会委員長 木村 直樹

日頃より当協会の事業活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

この度、当協会は2026年6月23日（火）～26日（金）長崎市にて開催されます、「第5回環境化学物質合同大会（第34回環境化学討論会）」へ昨年に引き続きブース出展することといたしました。

来場される研究者や学生に向けて環境測定分析業界や協会について多くの方に知っていただき、企業PRおよび人材確保へ繋げていきたいと考えております。

詳細については、下記にご案内させていただきますので、ぜひこの機会を有効に活用いただければと存じます。皆様のご参加お待ちしております。

記

【開催概要】

開催名：第5回環境化学物質合同大会（第34回環境化学討論会）

開催日：2026年6月23日（火）～6月26日（金）

開催場所：長崎県出島メッセ（長崎県長崎市尾上町5-1）

大会情報：<https://www.j-ec.or.jp/conference/index.html>

■環境化学討論会とは

環境化学討論会は当協会と友好団体である一般社団法人日本環境化学会が開催。全国各地の環境分析・研究に携わる学会員が研究成果を発表する、年に一度の学術集会です。

2025年度は山形市にて開催。参加者数 795 名。出展企業数 42 社。日環協は初出展。

■日環協ブース展示出展の目的

1. 学生への業界アピール

2023年度に実施した業界実態調査では、多くの企業が人材確保の難しさを課題としています。一方で、学生に対して「環境測定分析という仕事の内容や社会的な意義」が十分に伝わっていない現状も浮き彫りになりました。

環境化学討論会には大学生・高校生が多数参加するため、彼らに向けて環境分析・測定業務の魅力や社会的意義を直接伝える貴重な機会と位置づけています。

2. 研究者への分析技術・精度のアピール

学術論文に掲載される分析データは、一定の精度と信頼性を備えている必要があります。会員企業のラボとのマッチング、当協会が実施している精度管理事業や分析技術者育成事業についても紹介する機会として活用します。

■前年度日環協ブースでの実績

- ・日環協ブースへの来場者は、128名（行政・国研修機関 16名、民間企業 56名、大学（教員含む）56名）
- ・企業紹介申込み会員 11社（ブースでの配布資料：会社紹介チラシおよび会社パンフレット）
お申し込みの会員様より提供いただいた資料全てを来場者へ配布することができました。

【会員企業紹介参加要領】

1. 募集対象：日環協正会員
2. 募集数：18社 ※1社1枠、先着順とさせていただきます。
3. 参加料：10,000円（税込）
4. 配布資料：
 - ①会社紹介チラシ A4裏表2ページ
※下記【参考】会員企業紹介冊子のご紹介をご参照ください。
※チラシは、各事業所様にて作成をお願いしております。
※申込みが確定しましたら、フォーマットをお送りします。
※既存の会社案内（A4サイズ2枚）でも対応可能です。ご相談ください。
※参加企業紹介チラシを冊子印刷し、現地で配布します。
 - ②パンフレット1点 ×50部 ※日環協へ送付

5. スケジュール ・参加募集期間：3月2日（月）～5月15日（金）
 ・会社紹介チラシ原稿、パンフレット送付締切：6月5日（金）
6. 申込方法：

添付の「企業紹介参加申込書」に必要事項を入力いただき、下記アドレスへお送りください。

※先着となっておりますので、申込が確定となりましたら、案内メールとともにご請求書をお送りさせていただきます。

※ご不明点やご質問がございましたら下記までお問い合わせください。

<お問合せ先>

一般社団法人 日本環境測定分析協会 事業企画部 小林・遠藤・吉田
 メール jemcaeducation@jemca.or.jp

■前年度 JEMCA ブースの様子



■企業紹介チラシ例

表)

一般社団法人日本環境測定分析協会
Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association

健全で暮らしやすい環境を維持するために

〇恵み豊かな環境を維持していくためには、水質、大気、土壌などを測定分析し、環境負荷を的確に把握し、地域における環境行政の推進、企業における環境経営に繋がっていかねばなりません。

〇日本環境測定分析協会（日環協）では、
 ▶環境測定分析に係る知識や技術の普及
 ▶環境測定分析に携わる方の資質の向上
 ▶環境測定分析の適正な管理の推進
 を通じ、健全な環境の維持に貢献します。

◆時代とともに歩む日環協
 ○日環協は、大気汚染や水質汚濁などの産業公害が問題となり環境保全の法的規制が強化される中で、1974年に設立されました。
 ○昭和後期には新たな化学物質問題が目され、昭和から平成、令和へと時代が移り変わる中、ダイオキシン類、アスベスト、PFASといった極微量物質、放射性物質など特殊な分析技術を要する環境汚染物質に対して専門の研究会や委員会をタイムリーに設立し、信頼性確保や精度管理の推進に努めています。

項目	内容
【組織】	会長 日本環境測定分析協会 会長 副会長 日本環境測定分析協会 副会長 理事長 日本環境測定分析協会 理事長 理事 日本環境測定分析協会 理事 常務理事 日本環境測定分析協会 常務理事 監事 日本環境測定分析協会 監事
【役員】	会長 日本環境測定分析協会 会長 副会長 日本環境測定分析協会 副会長 理事長 日本環境測定分析協会 理事長 理事 日本環境測定分析協会 理事 常務理事 日本環境測定分析協会 常務理事 監事 日本環境測定分析協会 監事
【事業】	環境測定分析に係る知識や技術の普及 環境測定分析に携わる方の資質の向上 環境測定分析の適正な管理の推進
【お問い合わせ先】	事業企画部 小林・遠藤・吉田 メール jemcaeducation@jemca.or.jp

裏)

◆各事業のご紹介

◎環境測定分析に係る知識や技術の普及

〇日環協では、測定分析方法の共通化、標準化を図るため、これまで環境測定分析に関するJIS（日本産業規格）を38規格を策定してきました。
 〇規格の多くは、環境関連法令の告示等において採用され、広く活用されています。
 〇また、測定分析方法に関する知識や技術の普及のため、各種研修や講習会等を開催しています。

環境省 大気汚染防止法 水質汚濁防止法等
 環境省 大気汚染防止法 水質汚濁防止法等
 環境省 大気汚染防止法 水質汚濁防止法等

◎環境測定分析に携わる方の資質の向上

〇日環協独自の資格認定制度として、『環境測定分析士』『環境検査士』『環境測定士』を2006年2月に発給しました。
 ○制度開始から20年目を迎え、多くの測定分析の専門家も多く認定し、環境測定分析業界全体の技術力の向上、社会的な信頼性の確保に貢献しています。

環境測定分析士	環境検査士	環境測定士
<ul style="list-style-type: none"> 環境測定分析士1級 環境測定分析士2級 環境測定分析士3級 	<ul style="list-style-type: none"> 環境検査士1級 環境検査士2級 環境検査士3級 	<ul style="list-style-type: none"> 環境測定士1級 環境測定士2級 環境測定士3級

【合格者実績】
 ○環境測定分析士
 1級 52名(107名) / 2級 567名(989名) / 3級 4,210名(7,101名)
 ○環境検査士
 1級 26名(40名) / 2級 635名(977名)
 ○合格者合計 5,490名(9,214名)
(※1/2024年7月現在)

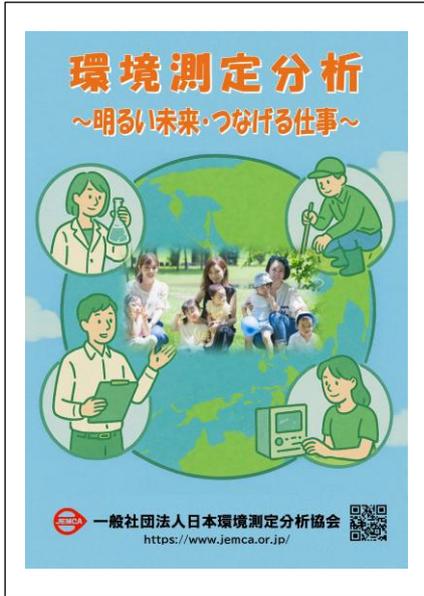
◎環境測定分析の適正な管理の推進

〇環境測定分析は、試料の採取・保管・前処理から、測定分析機器・薬品等の管理、試験・検出に至るまで、測定分析に携わる分析機関、技術者の技術、経験が、データの精度に大きな影響を及ぼします。
 ○日環協では、分析機関の精度の維持、向上を図るべく、約300～400の分析機関が参加した技能試験を実施しています。

【お問い合わせ先】 一般社団法人日本環境測定分析協会
 〒114-0044 東京都目黒区中目黒4-3-4 TEL:03-3678-2111 FAX:03-3678-2626 E-MAIL jemca.or.jp

【参考】 会員企業紹介冊子のご紹介 (表紙～企業紹介チラシ：両面カラー印刷)

表紙



目次

- 1 (株)イズミテック
- 2 いであ(株)
- 3 (株)エオネクス
- 4 (株)オオシ
- 5 (株)環境管理センター
- 6 (株)タツタ環境分析センター
- 7 (一財)東海技術センター
- 8 (株)東海テクノ
- 9 (一財)新潟県環境衛生研究所
- 10 (一財)広島県環境保衛協会
- 11 ラボテック(株)
- 12 (一社)日本環境測定分析協会

チラシ

～人と地球の未来のために～ **いであ株式会社**

当社は、社会基盤整備や環境保全に関わる企業、国産、分析、検測、予測、評価の分野において、専門に定着した技術と豊富な経験を活かし、最新の測定機器や最新の測定技術により、高精度な測定結果を提供し、お客様の課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献することを目的として、様々なサービスを提供しています。

いであの事業

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

当社は、社会基盤整備や環境保全に関わる企業、国産、分析、検測、予測、評価の分野において、専門に定着した技術と豊富な経験を活かし、最新の測定機器や最新の測定技術により、高精度な測定結果を提供し、お客様の課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献することを目的として、様々なサービスを提供しています。

環境部門の業務

環境部門の業務は多岐にわたる総合力を駆使して顧客の抱える課題を解決する

環境部門

- 環境アセスメント・環境計測部門
- 環境モニタリング部門
- 環境生物部門
- 環境調査部門
- 環境化学部門
- 土壌汚染対策部門

いであの強み 一歩先をみた技術開発で、付加価値の高いサービスを提供

【環境化学・食品分析部門】

化学分析・化学実験

環境リスクの解析・評価

食品分析・衛生検査

【お問い合わせ先】

〒466-0006 愛知県東海市西宮町2-1-1

採用サイト インタレンシップ情報

チラシ

TTC 一般財団法人 東海技術センター

◆会社紹介

概要

名称 一般財団法人 東海技術センター (略称 TTC: Tokai Technology Center)
 設立 1971年10月30日 / 従業員数 157名 (2025年7月現在)

〒466-0001 愛知県東海市西宮町2-1-1
 TEL: 052-773-6161 (代表) / FAX: 052-773-6194

〒468-0077 愛知県東海市西宮町2-1-1
 TEL: 0561-88-2014 / FAX: 0561-88-2015

〒464-0081 愛知県東海市西宮町2-1-1
 TEL: 0562-97-7799 / FAX: 0562-97-7798

〒464-0083 愛知県東海市西宮町2-1-1
 TEL: 051-8866-8932

◆すべてはこれらのために

「職員の皆」が、職員の情報はこころ

私たちは、「モノはつくりたい 価値を創る!」

◆事業紹介

環境分野の調査・分析から、工業製品の材料分析、建設材料の品質試験まで幅広い分野に対応している 数少ない調査・測定分析機関です。愛知県を拠点に、全国からご依頼をいただき対応しています。

環境測定分析

快適な生活環境を守るために

高い自然環境、快適な生活環境を次世代へ継承するために

製品等の品質

安心・安全な製品を世に出すために

製品の安心・安全、その第一となるのが製品に用いる原材料の品質です。

第三者機関としての信頼性

機密保持や第三者機関に委託される検査材料は、信頼性・公正性を保つことが求められます。

採用サイト インタレンシップ情報